

## 事例 2

### 大型液晶ディスプレイ固定フレーム

脳幹出血により脳神経による視覚障害（病前の視力低下も含む）、言語機能、四肢体幹機能障害がある人に対し製作したものです。重度障害者用意思伝達装置の既存のパソコンの画面では文字（フォント）が小さく視覚的に見えないため、27型の大型液晶ディスプレイを外付けしなければなりません。しかし、重量が重いため固定できる安価なフレームが少ないため製作しました。ベッド廻りの環境に応じて、頭上から床走行で移動できるように設計されています。

